

スキーオリエンテーリングの日本一が決まった。競技スポーツとして一歩前進した。

2012年3月24(土)-25(日)  
北海道ルスツリゾート  
第1回全日本スキーオリエンテーリング大会



女子ミドル種目日本一に輝いた酒井佳子

#### 男子ミドル選手権結果-7.2km

- 1 堀江守弘 0:40:25 arc-c.jp
- 2 黒田幹朗 0:44:51 横浜 OL クラブ
- 参 Lee, HoJin 0:47:47 Korea
- 3 平野弘幸 0:49:04 東北大学

#### 女子ミドル選手権結果-5.4km

- 1 酒井佳子 0:38:13 チームスキーO
- 2 高橋美和 0:40:44 arc-c.jp
- 3 島貫なつみ 0:42:52 九里学園

#### 男子スプリント選手権結果-3km

- 1 堀江守弘 0:14:15 arc-c.jp
- 2 黒田幹朗 0:17:23 横浜 OLC
- 参 Park, SB 0:17:33 Korea
- 3 平野弘幸 0:19:13 東北大学

#### 女子スプリント選手権結果-2.3km

- 1 高橋美和 0:17:50 arc-c.jp
- 2 島貫なつみ 0:18:54 九里学園
- 3 大里真理子 0:25:11 arc-c.jp

#### 男子リレー結果

- 1 長野県 1:21:33  
黒田幹朗-高橋美和-平野弘幸
- 2 東京都 1:31:37  
清水由布子-柴田達真-堀江守弘
- 3 北海道 1:56:30  
東井透-木谷弥彦-高野健治
- 参 Korea 2:26:20  
Byeon, Ju Yoeng - Lee, HoJin - Park, Seong Beom

#### 女子リレー結果

- 1 北海道 1:09:32  
島貫なつみ-酒井佳子-渡邊志保



やはりこの男、堀江守弘。ミドル種目とスプリント種目の個人種目で初代日本一に輝いた。  
なお、ロング種目は、今回実施されなかった。(写真は裏磐梯イベント時のもの)

### 日本一を決めよう

スキーオリエンテーリングの日本一を決めよう。この人がこの年の日本一だということを公認しよう。競技スポーツとして当たり前と言える日本選手権大会が、スキーオリエンテーリング種目でようやく実現した。

2012年3月24-25日、北海道ルスツリゾートにて日本オリエンテーリング協会主催の「第1回全日本スキーオリ

エンテーリング大会」が開催され、ミドル種目、スプリント種目、都道府県別リレー種目が行われた。

スキーオリエンテーリングでは、日本スキーO研究会主催のJ-cupが毎年開催され、関係者の中ではこれが事実上の日本選手権とも言えるイベントであったが、これは日本オリエンテーリング協会の公認行事ではない。



今後、スキーオリエンテーリングがオリンピック種目入りや冬季アジア大会種目入りを目指す中で、日本オリエンテーリング協会が公認した日本選手権大会の必要性を関係者が感じ、遅まきながら立ち上げた大会である。

参加人数は小規模ではあるが、日本オリエンテーリング協会の総会で承認され、実施規則が理事会により制定され実施された、

リレー種目は都道府県対抗の形をとった。これは現在の日本オリエンテーリング協会が都道府県別に会員を構成することから、この形態が適当とされたことによる。

### ミドル優勝・堀江守弘

起伏のはっきりしたゴルフ場がテレインだったため、登りの少ないルート選択と走力が勝負の鍵だったと思います。スタートから急な登りでしたが、私は終始全力で攻めの滑りで徹しました。中盤の苦しい場面でも自分との戦いと言い聞かせ体に鞭を打って滑りました。しかし、最後の最後それが仇となりました。最終コントロールからゴールまでの下り坂を時速40km近いスピードで滑っている途中、ふくらはぎがつかまりました。バランスを失いながらも目の前に見えるゴールに飛び込もうとしましたが、手間で大クラッシュ。幸い前半の貯金があったおかげで優勝することはできましたが、0.1秒を競う競技の中で大きなタイムロスをしてしまいました。

### ミドル優勝・酒井佳子

ミドルのテレインは、複雑な起伏のあるゴルフ場でした。視界が開けて簡単そうに見えるけれども、等高線を丁寧に読まないで勝てない、というのがこのタイプのテレインの特徴です。主に森林地帯で競技をしてきた高校生選手たちには、慣れないタイプのテレインで、戸惑ったのではと思います。高橋選手がいくつか、優れたルートチョイスをしていましたが、スタート直後の長いのぼりで作った貯金で、しのぐことができました。

### スプリント優勝・堀江守弘

さわやかに晴れた青空の下、シーズンを締めくくる最後のレースが行われました。14分という短いレースでしたが、私は中盤で2分前スタートの韓国代表パク選手に追いつきました。そこからは追うパクと逃げる堀江のレースとなりました。最後は私が逃げ切りましたが、パク選手は2位と10秒差の3位となり大健闘。一週間前にスキーオ



第1回全日本スキーオリエンテーリング大会の都道府県対抗男子リレー種目優勝の長野県チーム。平野弘幸(左)、高橋美和(中央)、黒田幹朗(右) 女子ながらほかの長野男子より速い高橋美和を選手に抜擢。

リエンテーリングを始めたばかりとは思えない成長ぶりでした。韓国チームとの合同合宿は日本にとっても素晴らしい刺激になりました。

### スプリント優勝・高橋美和

ライバルとはスキー走力で負けているのは明らかなので、「止まらない」「ミスしない」ことを心がけました。



女子スプリント種目日本一の高橋美和フィニッシュパンチを前に急ブレーキ

### 男子リレー優勝・長野県

黒田幹朗

前日のミドルを制した堀江選手が率いる東京チームや、持ち前のスピードを生かして急成長する韓国チームのプレッシャーを感じながら、自分たちのすべきことを確実に成し遂げて優勝できたことをうれしく思います。スキーシーズンは終わってしまいますが、連覇、そして個人での優勝を目指し、今後もトレーニングに励みたいと思います。

高橋美和

記念すべき第一回で優勝できてうれしいです。次は女子チームを組めるようがんばります。

### 女子リレー優勝・北海道

酒井佳子

国内でリレーができる機会がほとんどないため、将来の日本女子チームのことを考え、1走は、いつも走っている私ではなく、高校生の島貫さんに務めてもらいました。

リレーは、他の選手との駆け引きという要素が個人戦に比べて強いので

今後も国内でリレーを体験する機会があればと思います。

(編集：木村佳司)